
不満足

潤

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

不満足

【Nコード】

N0754N

【作者名】

潤

【あらすじ】

よくわからない話です。
病気にかかった男の子と
その子をしたう女の子の話です。

「でさーッ…」

亮聞いてる？」

「あ、いやあんまりだな」

「聞かんかい、ボケ」

「なんかゴメン。」

そういう気分じゃないんだ」

「そう彼女のあたしの話聞きたくないんだ」

「ごめん」

ってお前とは付き合った覚えがない」

「もういい、別れよ」

「え、それだけで？」

じゃねえよ。

お前とは付き合ってたねえ」

「なんであたしと話す気分じゃないの？」

「ゴメン」

そう俺、坂野亮は今

人の話を聞く気分ではないのだ。

なぜかって？

なんか今尋常じゃなくしんどいんだ。

ただの体調不良じゃなさそうだ。

病院に行こう

そう思った。

医者からは聞いたこともない病名を宣告された。
精密検査もしてみようといわれた。

「亮！。」

なんで昨日メール返してくれなかったのー？」

昨日からやたら絡んでくる女子

森崎 明日香が今日も絡んでくる。

「ゴメン。」

昨日病院行ってたんだ」

「1日中？」

「いや、ゴホッ」

「大丈夫？」

「ほつといってくれ。」

ゴホッゴホッゴホッ」

「風邪？お大事に」

「か…」

バタ。

イスに座っていた坂野が倒れた。

「大丈夫？」

だれか先生を」

ウツ。

次目が覚めたときは

病院のベットのうえだった。

「キミか。」

もう精密検査するよ」

「嫌です」

「嫌だなんていつてられる状況じゃないよ」

「精密検査する。」

MRIもする」

「どっちも嫌です」

「キミは知らないかもしれないけど
一緒に運ばれてきた…。」

「いやこれはまだ早いかな」

「なんなんですか？」

「ゴホッ」

吐血した。

「もう調べるよ」

精密検査終了。

しばらく入院だとさ。

俺はベットで大人しく寝ていた。

「おーい。亮」

「なんで森崎お前がいる？」

「なんでってあたしも入院してるんだよ

なんかよくわからないけど

……病だつてさ」

「待て。」

……病だと？

俺と同じだぞ。

医者は前めつたなことがない限り

人にうつらんっていつてたぞ」

「でも、亮の病気がうつったって

お医者さん言つてたよ？」

「クソつたれが…」

「でもまーなんもしなくていいってさー」

「自然治癒？」

「んーわかんない」

「俺みたいに精密検査されたりは？」

「してない」

俺は次医者にあつたとき聞いた。

森崎は俺と同じ病気で、

それは俺がうつしたのか？

治るのか？

などと。

医者は俺が媒介となつて

その病気をうつしたらしい。

そして森崎のは治る見込みがないため

本人の自然治癒を待つことにしているそうだ。
治らなければ死んでしまうそうだ。

「
…」

俺は毎日来る森崎にどんな顔して
会えばいいんだ？

「そんなのいつも通りの顔で
いればいいんだよ」

「お前いつから？」

「いつだろうね？」

「今日も来ちゃった」

「まったく…」

ゴホッ。

ドボ。

今度は森崎の方が吐血した。

ピーピー。

俺はとつさにナースコールした。

「すぐに向かいます」

「すぐに頼みます」

しばらくの沈黙。

「ね、亮…。」

い…ま…ま…ん…ぞ…く…し…て…る…う…？」

「んなことあどーでもいい。

早く誰か来いよ」

ガラガラ。

ナースだった。

状況を見て即座に医者呼んだ。

そして森崎は…運ばれた。

そして俺はなぜか前の
体調不良はなくなった。

俺は退院できることになった。

<あたしも入院してるんだよ>

退院の見送り。

「あ、そうだ。

森崎 明日香ってやつ。

ここに入院してますよね？

そいつに会わせてください」

「…。」

もういないんだ」

「は？

退院したんですか？」

「違う。

もういないんだ」

「どついう意味ですか？」

「キミがナースコールで呼んだ日に
亡くなった

その日でキミの病気も完治したんだ」

「どういう意味ですか？」

「キミの病は人にうつしてそれで
そのうつした誰かがなくなること
で完治するんだ。

簡単に言えば呪いだ」

「クソつたれが…」

呪いならあんどき俺や森崎にいつた
病名はなんなんだよ？」

「僕の作った病名」

「むなくそわいい」

森崎…

お前俺に聞いたよな？
今満足か？

「不満足だ

お前のいない世界でな」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0754n/>

不満足

2010年11月23日11時35分発行